

東奥日報2026年1月21日(水)付掲載



11月3日



青い海

# 青公大で室内楽演奏会

# 実行委と大学が連携協定

東奥日報社などでつくる  
青い海と森の音楽祭実行委員会は、今年の第2回音楽祭（10月31日開幕）の一環として、11月3日に青森市立青森公立大学で室内楽演奏会を開く。実行委と同大が20日、連携に向けた協定を締結し、企画や運営面などで協力しながら音楽を通じたまちづくりを進めることから開催場所に決定。企画や広報、運営などを学生が担い、人材育成の場とする狙いもある。

同日、同市の東奥日報新町ビルで協定締結式が行われた。実行委員長（左から）荒谷副委員長、塩越実行委員長、高坂理事長、神山学長

アウトリーチ先を公募 3月2日まで



パクトになる。演奏会を  
画するといつとも自信有  
なると思う」と述べた。  
坂理事長は大学のミッシン  
ンである地域貢献にも大  
な成果となるとした上で  
「学生にプロの仕事に触  
てもらう実践的な機会に  
てもらつ」と話した。

なれできヨ高に企同音楽祭は青森市出身の指揮者・沖澤のどかさんが、芸術総監督、五所川原市出身のソプラノ歌手・隱岐彩夏さんが音楽主幹として開催を呼びかけ、昨年初めて実現した。1週間だった会期を今年は9日間に増やし、より充実した内容を開催する。（秋村有香）

無断での複製・転載・生成AI利用を禁じます